

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
税務会計論Ⅱ	～218	3・4年生・後期	2	選択	春日 克則	
履修の前提条件	「会計学入門」や「簿記」を履修済か同程度の知識を有することが望ましいが、何よりも、税金に興味を持っていることが必要である。					
授業概要 (Course Outline)						
前期の「税務会計論Ⅰ」では、租税の基本原則である租税法主義と、公平な課税を実現するために必要な租税回避への対応を学習した。後期の「税務会計論Ⅱ」では、法人税法の個別の規定をみることによって、法人所得の計算と、最終的な到達点である法人税額の計算を行う。なお、その際、法人税の特徴が明確となる項目を中心に学習する。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理能力 Self-management					○
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					
	生涯学習力 Lifelong Learning					○
到達目標 (Objectives)						
法人税法では、企業が計算した利益を基に税法独自の規定を適用して、税額を算定するシステムがとられている。本授業では、企業の「利益」を法人の「所得」に変換し、これに課せられる税額を計算するためのシステムについて、基礎的な知識が得られる。また、その際、実務で利用されている「別表」の作成スキルも合わせて修得できる。						
事前学習の内容	プリントを予め配布するので、わからない点が自覚できるようにしておきたい。					
事後学習の内容	毎回、練習問題を提出・返却するので、指摘された課題に取り組む必要がある。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
授業では、抽象的な理論を具体的な課題に応用できるよう、毎回、事例や練習問題に取り組む。その成果を、授業の最後に提出してもらい、翌週添削して返却する。課題を提出する際には、授業中に疑問に思ったことや、わからなかったことを記入する。また、返却された課題には、私のコメントが書いてあるのでお互いわかり合えるまで、キャッチボールを行いたい。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
木曜日の5時限目に、非常勤講師室で対応する。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
外部試験: 税のスペシャリスト＝税理士試験の基礎となる授業である。 学習の確認: ポートフォリオ(科目別履修確認チェック表)に必要事項を記入して、指定日時に、春日までメールで提出すること。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	わが国の財政と法人税		
第2回	企業会計で計算された「利益」と、法人税法の「所得」との違い		
第3回	「利益」を「所得」に変換する－別表4－		
第4回	法人税額を計算する－別表1と次葉－		
第5回	企業の設備投資に影響する減価償却		
第6回	法人税法上の特別規定①－償却不足と過大償却－		
第7回	法人税法上の特別規定②－少額取得資産と一括償却－		
第8回	中間テスト(これまで学習した項目の理解度テスト)		
第9回	交際費を使うことは善か悪か？		
第10回	交際費の限度額計算－別表15－		
第11回	ふるさと納税をしてみよう－寄附金制度－		
第12回	寄附金の限度額計算－別表14－		
第13回	受取配当等の益金不算入額の計算－二重課税の防止－		
第14回	グループが一緒になって税金を納める－連結納税制度－		
第15回	税務会計論Ⅱのまとめ		
第16回	定期試験等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
租税法入門(上巻)【第2版】	福浦幾巳	中央経済社	978-4-502-18611-0
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
よくわかる税法入門	三木義一	有斐閣	978-4-641-28142-4
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
定期試験40%、中間テスト20%、毎回の課題提出40%として評価する。講義の理解を深めるために、各回ごとに課題の提出、添削、返却がなされるが、この課題への取り組みは、評価のウエイト(40%)に留まらず、テスト問題を解くための大きな手助けとなる。			